

マネジメント力向上研修 ～組織、業務、人～

対象者:管理者

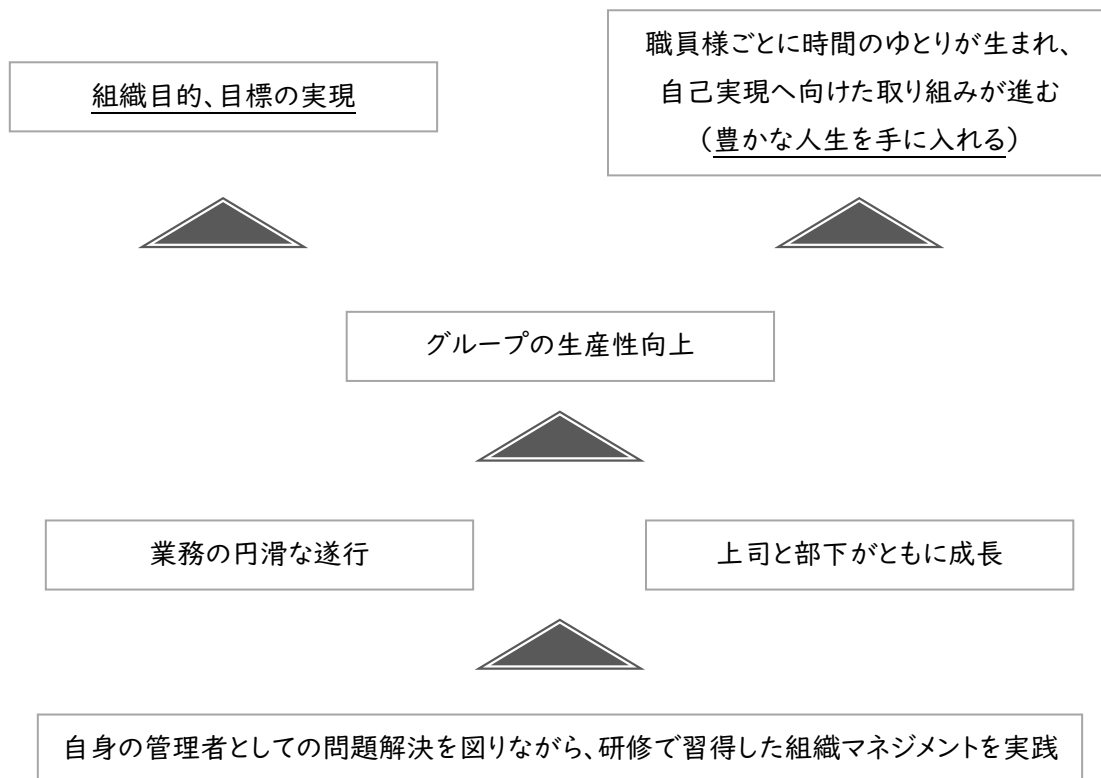
Ⅰ. 研修の目的と全体像

(1) 目的

管理者に必要な職場の管理能力を高め、組織の経営に必要な心構えや知識を習得する

(2) 構成

【研修終了後イメージ】



【研修内イメージ】

座学&各種ワーク



下記であぶり出した問題意識への解決策と管理者として必要な素養を体系的に学んでいただきます。



【テーマ】

管理者として、いまある疑問、悩み、不安

問題意識の醸成



管理者として現在抱えている不安や悩み、疑問を明確にします。明確化したのち、受講者同士で情報共有し、新たな気づきやアドバイスの提供などを行って頂きます。

問題解決に向けた積極的な受講姿勢を醸成していきます。

2. 研修内容

PW=個人ワーク GW=グループワーク

	内容	詳細、得たい成果
9:00	I. 研修の目的と全体像【講義】 II. 問題意識の具現化【講義、PW、GW】 以下のテーマで個人ワークを行います。 『管理者として、いまある疑問、悩み、不安』 1. 個人で考える 2. 班で共有 3. 講師講評 III. マネジメント診断（診断シート） 1. 説明 2. 診断開始 3. セルフチェック IV. 管理者としての役割 1. 管理者に求められる役割の全体像【講義】 2. リーダーシップとは『型』を知り『切れ』を磨くこと【講義】 3. マネジメントをイメージする【講義】 V. 管理者の役割を果たすために必要な行動 1. 組織マネジメント ▶職場風土の醸成:心理的安全性を高める (1) 心理的安全性とは【講義】 (2) 心理的安全性の不足による4つの不安と行動特徴【講義】 (3) 心理的安全性がもたらす組織と個人へのメリット【講義】 (4) 心理的安全性の高め方【講義、PW、GW】 (5) 心理的安全性を高める際の留意点【講義】 (6) SOCを取り入れたコミュニケーションスキル【講義、PW】 (7) DESC法 一対等な目線で話す【講義、PW】	IIについて 管理者として現在抱えている不安や悩み、疑問を明確にします。その後、班ごとに情報共有し、新たな気づきやアドバイスの提供などを行って頂きます。 <u>問題解決に向けた積極的な受講姿勢を醸成していきます。</u> IIIについて 管理者に求められる能力要素がどのレベルまで備わっているか、自己診断して頂きます。これにより、 <u>自身の強みと今後の課題がクリア</u> になります。 IVについて 管理者に求められる役割を漏れなく全体から確認するとともに、リーダーシップの発揮とは何か、マネジメントとは何か、具体的に確認していきます。 Vについて 組織経営について、 <u>組織、業務、人（部下）の3つの要素を全体として学習</u> します。
12:00		
13:00	2. 業務マネジメント (1) 仕事の管理とはPDCAを回し続けること【講義】 (2) 問題発見・解決力の強化による円滑な業務遂行【講義、PW、GW】 (3) チームが一丸となる業務改善の進め方【講義】 3. 人のマネジメント (1) 部下マネジメントの土台 ① 当事者意識を持った行動【講義、PW】 ② 上司部下の信頼関係構築に必要な要素【講義、PW】 ③ ラインケア 一部下のメンタルケアを行う【講義】 (2) 部下の成長サポート ① 状況別・部下別・年齢別コミュニケーション【講義、PW】 ② 1on1ミーティングのコミュニケーション技術【講義】 ③ 褒め方・叱り方【講義、GW】 ④ 管理者に求められるOJT機能化へのアプローチ【講義】 VI. 質疑応答	■ 当プログラムの特徴（強み） 1. 組織マネジメント <u>心理的安全性の重要性及び醸成方法について深く追求する点</u> です。チームを機能させる上で、もっとも必要な要素が心理的安全性です。そのため、講義のみならず、グループで意見交換する時間も設け、多くの気づきを醸成して参ります。 2. 業務マネジメント <u>問題発見・解決力の強化を深く追求する点</u> です。限られた職員数の中で、生産性を上げて業務をスピーディーに完了させることが求められています。そのためには、当該能力の強化が必須です。問題の発生原因を特定するツール『連関図』の作成シミュレーションを設け、重点的に取り組んで参ります。 3. 人のマネジメント <u>部下を成長させるコミュニケーションスキルを体系的に習得できる点</u> です。よく質問がある <u>年上部下とのコミュニケーション方法</u> や <u>部下面談時の対応方法</u> についても触れ、体系的に確認して参ります。
16:30		